

なんぐん館ご利用者様へ

「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）／別名：人生会議」  
をご存じですか

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

そこで、もしもの時のためにあらかじめ希望する医療やケアについて考えたり、信頼している人たちと話し合い共有しておいたりすることを「ACP（アドバンス・ケア・プランニング／別名：人生会議）」と言い、厚生労働省が推奨しています。

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは  
自分がどのような医療を受けたいか、あるいは受けたくないのか、また、どこで人生の最期を過ごしたいかなど、医師やケアマネジャーなど医療や介護の専門家から必要なサポートを受けながら、家族等も交えて、希望や考えを明らかにしていくための話し合いを「ACP（人生会議）」と言います。



そこで・・・

R3.7からなんぐん館でも厚生労働省が推奨している  
「ACP（人生会議）」の考え方をもとにご本人、ご家族に  
下記の3つの質問をしております。

- ① 希望する終末期の医療
- ② 希望する最期の場所
- ③ 今後しておきたいこと